

年中児母親教室の報告

令和2年10月30日(金)に、うみのこセンターで年中児の母親教室を行いました。内容の一部をうみのこセンターのおたよりでご紹介しましたが、全部を載せることができなかったので、改めてご紹介したいと思います。

参加してくださった方はみなさん充実した時間を過ごすことができ、すっきりした表情で帰って行かれました。またこのような機会を作りたいと思います。たくさんの皆さんのご参加をお待ちしています。

テーマ①「子どもが主張する時どうする？」

【帰りたくない】

- ・園の帰り近所の公園で遊びたいと言い遊ぶが帰れない。時間は設定するが帰れず気持ち良く帰れる対応はないか？（年中になり毎日帰りに公園に行く様になった。）
- ・朝から公園に行きたいと言い一人で行ってしまうが公園に行くと落ち着く。
- ・母が帰ると言ったら帰るになっている。母が言ったことを曲げないと児が分かっている。約束を決めたら律義に守る。
- ・魔法の言葉は“おやつ”最終手段は“鬼が来る”にしてしまっているが良いのかな？と思うが対応としては良いのか教えて欲しい。
- ・“おやつ”は効かない。“鬼”等の恐怖心を植え付けるようなことはしたくないので使わない。どうしてもの時、「兄にタブレット取られちゃうよ」と言ってしまう。家に楽しい事があると良いと思う。遊びたい思いは消化させるしかない。
- ・本人が「イヤ」と言ったら諦めてしまう。次の事をやらせてしまう。それでも帰りたくない時は「もうちょっとね」「あともう少しね」等少しづつ伝えていく。

～施設長より～

- ・鬼は退治される。（節分等）怖い存在はあっても良いが何とかしてくれる人がいても良い。“〇〇が守ってくれる”
- ・“おやつ”については、『先の見通しが持てる』『物欲（精神的安定）』と言える。ない時は楽しい事を伝え「切り換えられてやったね！」と褒める。2つとも間違えではない。
- ・“分かって、安心して、終わりが分かる”様にその子がどうしたら入るのか考える。

【クールダウン仕方について】

- ・外ではない。家がクールダウンの場所になっている。兄にあたって発散しているので、兄には「近くに来ないで」と言うと良いよ。と伝えている。
- ・一人になって落ち着くのでクールダウンしている時間なのかもしれない。自分もホッとしてから家に帰れる。
- ・スーパーへ行って初めは走り回ってそのうち寝そべって待っている。良く分からぬがこれがクールダウン？
- ・そのままにしておくと疲れて寝てしまう。水を飲んで気持ちを切り替えらせる。

- ・ほっといて「抱っこ」と言ったら抱っこする。

～施設長より～

- ・基本的に自分でコントロールする。立ち直る瞬間に次の行動を示し気持ち良く過ごす。

【スーパーの買い物に行くと走り回り困る】

- ・今は落ち着いてきた。興味がある物には行ってしまうが母を見失うと戻って来るようになった。繰り返し声を掛けて少しづつの積み重ね。
- ・お菓子を買いたいと言う時期があった。“1つと決めて買う”をすると落ち着いた。時々カゴに2つ入れてしまうので「今日は特別だよ」と言う。最近走り回る事が少なくなった。「行かないで」を繰り返す事で側にいる様になった。
- ・一緒にカートを押したい。食品を取って来るの事に興味があるので「納豆持って来て」と頼む。母と離れるのが不安という事もあるので側にいる。お菓子は最後に買ってくれると思っている。

～施設長より～

- ・買い物に参加させると良い。（「○○探して」「○○見つけたら教えてね」等）
- ・買い物は母の都合で行くのでお菓子は例えば1つと決めて買うや「納豆を探して」は良い方法。

【園が近いのに車で行きたいと言う】

- ・いつも自転車で通園。父親の送迎は車のため喜ぶ。
- ・バスで通園だが「車で行きたい」と言う時は「日曜日に乗れるよ」と言う。
- ・言葉での反発はない。

～施設長より～

- ・自転車、バス、車は楽しいが、“歩いて行くとすごいぞ”があると良い。例えば、何か見つける、数字が好きなら50数える等歩いて行くと楽しいがあると良い。

【やきもちをやく】

- ・母がママ友と話していると髪の毛をひっぱる。言っても直らない。
- ・父がクラスで人気者になり「うちのパパに話しかけないで」と言ってしまう。
- ・知らない人と話すと下を向いてしまう。電話をしているのが特に嫌がる。
- ・特にない。物への執着はある。

～施設長より～

- ・お母さんを必要としている。“そんなこともあったね”と言える日が来る、ずっとではない。
- ・「つまらなかったよね」と気持ちを受け止め、電話は隠れてするくらいで良いのかもしれない。

【外出すると歩かない】

- ・しゃがみ込んだり寝転んだりするため散歩は抱っこになってしまう。
- ・抱っこをせがむが下の子が生まれたら「○○ちゃん抱っこするからだめだよ」と言うと歩くようになった。

～施設長より～

- ・分からないうちから不安になる。次に何があるか本人に分かる様に伝え終わりが分かる様にする。（例：写真やスケジュールを見せる➡記号、文字と絵で合わせたもの）先の見通しをすると落ち着く。

【買ってと言ったらどうする？】

- ・おもちゃに興味を持てなかつたので出来る事が増えればと思い良くおもちゃを買っていたため本人は買ってもらえると思っている。「ないよ」と伝えた方が良いか？
 - ・外食の時おもちゃを貰えると思っているため、おもちゃを貰えない所でも欲しいと言う。スーパーでもおもちゃを欲しがる。
 - ・本人が以前あったおもちゃを忘れてしまうため新しい物として使う。安くても面白そうな物にしたり、“品物がきらしてないよ”と伝える。
 - ・極力コンビニ、スーパーは行かないようにしている。
- ～施設長より～
- ・好きなおもちゃに対しては「買ってもらえなかつたね、残念だったね。」の言葉をかけていく。

【片づけが出来ない】

- ・落ち着いてきたが片付けを嫌がる。
- ・全部片付けるのは難しいので一緒に片付け1～2つ片付けて終わりにしている。
- ・全部出さないと気が済まず片付けのタイミングが分からず、散らかっていると落ち着く？
- ・母親が片付けてしまう。

～施設長より～

- ・少しだけなら片付ける、片付けは全部ではなく2つだけ等少なくする。
- ・おもちゃを少なくする。（良く遊ぶ物、遊ぶだろうと思う物だけにする。遊ばないおもちゃは倉庫等にしまう。）

テーマ② 「園の中での子ども達」

【園の中のこと気になることは？】

- ・園の中での出来事を話さない、又話せない為、どのように園生活を送っているのか分からず不安。
- ・他児に対して感情的に手が出たり、きつい言葉を使う等があるため心配。
- ・先生は忙しそうで話す機会が少ない。

【実際に見た場面ではどんな様子？】

- ・運動会は先生がずっと付いていてくれ、その場にいることができたが、毎回行事参加は悩むところ。先生のサポートが大きいのは有難いが、周囲の子は特別扱いをどう思っているのだろうと思う。
- ・参加会では思ったよりみんなと同じように動けていた。しかし、障害物競争やしっぽとりゲームはよくわからず動いていて、ルール 理解して参加することは難しいと感じた。
- ・音楽発表会等のみんなの前に出てやる活動は「やらないよ」と言う。隣の子に話しかけたりして就学後にできるようになるのか心配。

【園へ本番以外の様子を聞いたことがあるか？】

- ・行事の前には参加の仕方について必ず面談をしている。送迎時に様子を教えてくれる。

- ・児発ではノートに様子を沢山書いてくれる。園は登園日数が少ないこともあってか、余り話は聞かないが、固い園ではないので大丈夫だろうと思っている。

職員：先生のサポートがついていることについて、子ども同士の方が生活を共にする中でよくわかっていて上手に関わっている。

【他児に対して感情的になることだがどんな時に？家でもあるか？】

- ・やりたいことが出来なかった時に、家でも「叩いてやる」と言ったり、実際に叩いてくる。先日、他児に「トンカチで叩いてやる」と言ったことで、言われた子のダメージも心配。その言い方はダメと伝えたり、嫌で言っているなら他の言い方で、伝えようと思うが、余り言われるとイライラしてしまう。

【子どもがごねている時の対応は？】

- ・騒ぐのをしばらく静観。ひと騒ぎすると落ち着く。
- ・叩いてきた時は、痛いことをしたらダメ、と叱る。そうすると泣き、しばらく見守る。しばらくすると諦める。
- ・園ではおもちゃの貸し借り等でうまくいかないと、沸点が上がり感情的になってしまう様子。先生が仲介してくれ収まる。最近は成長てきていて相手の気持ちもわかるようになってきていると先生から報告を受けた。友達が色々サポートしてくれることも児の成長につながっている様子。

～メンバー入替り～

- ・本人は楽しそうだが、一斉の指示に反応がないと切なくなる。できないことが多くて見ていると辛い。できるなら年少からも一度やらせてあげたいと思ってしまう。子どもの前では泣けない。みんなと同じことができたらと思うこともある。園の様子を話すことはないので、色々具体的に聞いてみる。こちらの言っていることが当たると笑う。話しかける時は、児の顔の前で話しかけないとわからないということがわかった。聞いてない、と思うとイライラするが、聞こえていなかったと思えば納得できる。

- ・園のことは全く教えてくれない。周囲から聞いて知ることの方が多い。
- ・友達との関係が心配。言葉が遅いので一緒に遊んでいるというより、一緒にいるだけ。もう少しやりとりできるようになれば、と思う。
- ・一緒に遊ぼうと言われても何のことかわからない。
- ・言葉がつたないので、コミュニケーションがうまくとれるか心配。これからフォローがずっとあるわけではないので友だちと関係がどうなるか。
- ・児の兄が行事があるごとに卒園まで泣いていた。今は学校で発表したり、クラス役員に立候補したりする。最初は園での様子からは想像がつかなかった。園の先生がとても上手に関わってくれたことや、サッカー 年中位からやっていて自信 持てる物があるのが良かったのかもしれない。
- ・できないことは教え込んだ方がよいのか？鉄棒やなわとびをやらない。
- ・入園までは車しか興味がなかったが、入園して他児がやっているの 見たり、自分もできる、楽しいと感じたからか興味が広がった。

テーマ③ 「大切な家族なのに、なんで？どうして？」

【親に対して】

- ・怒った時に手をグーにしてなぐってくる。外で友達にはやらない。
- ・どうしてそういう行動になるのか。身体がとっさに出てしまうのか。
- ・本人に聞いたら「本当は怒りたくないんだよ」と言った。
- ・ある時、自分に余裕があった時に「なぐりたいだけなぐればいいよ」と言ったら、なぐるのをやめて泣いて抱きついてきた。言葉もまだちぐはぐで、感情的になるとうまく伝えられない。大人でも余裕がないと感情的になりやすい。本人は怒りたくて怒っているのではないのだと思う。

(メンバー入れ替わり)

【兄弟との関係】

- ・兄(中2)に対して強い言葉で言う。兄は優しいので全部受け止めてしまう。兄は悲しい気持ちなんだと伝えるように、というアドバイスを受けた。兄は中1から不登校。発散しきれていない。物に当たり散らす。気持ちを代弁しても、そうじやないと言う。何かしてほしいのだろうと思うが、どう対処して良いか分からず。
- ・妹と2才差。お互いに反発し合っている。兄は自分の主張を通す。収まるまで二人を離しておく。何でも一番でないと嫌。園ではそんなことはなく、妹にだけ。
- ・園では一番になれないけど家では自分も優位に立ちたいのではないか。

【父親との関係】

- ・休日、父が自分の意思で子どもを遠くへ連れて行く。子どもは近くの公園に行きたがるのにそこに子どもの意思はない。
- ・逆に休日だから遠くへ行こうと思ってしまう。父がいるから、普段自分では連れて行けない所に行けるので。自分で行ける所と、父がいないと行けない所と何カ所か作っておく。

【子どもへの関わり方】

- ・他のことをやっていて時間がなくなってしまい、行きたい所に行けなくなってしまった時、時間がないうから行けないという事が分からず。色々説明したり説得はするのだが。
- ・説得はしない。言ったでしょ、と。ダメなことはダメで通す。